

平成 24 年度事業報告

1. 栄養の科学と技術の振興事業

県民の健康・食事の実態等と栄養指導・食事療法に関する調査・研究・技術開発、郷土料理の研究や料理・献立の創作等による食文化の発展的承継に資する活動、及び、県等の健康政策立案への貢献などをおして、食と栄養の科学および実用技術を振興させる事業。

24 年度の事業は以下の通りである。

・第 38 回福岡県栄養改善学会（栄養改善学会委員会）

栄養指導・食事療法（栄養管理）に関する調査研究および業務改善の取り組み事例や症例報告、また施設における新しい試み（実践）など、医療、福祉、研究の 3 分野から 9 演題の発表を行った。特別講演「医師として、患者として、闘えし日々、そして今から」は日本医師会総合政策研究機構三村和郎氏より患者としての心理などを交えて病床からの復帰にいたる内容の講演であった。

平成 24 年 10 月 17 日、ナースプラザ福岡、参加人員 179 名・招待学生・職員 87 名

2. 県民の健康づくりの担い手となる人材の育成（研修部）

県民が、質の高い栄養指導及び食事療法を身近に受けることができるように、本事業は高度の専門的スキルとともに、命の源である食とその食をいかすための食事療法、栄養管理を日常生活に活用する知識とスキルを有した管理栄養士・栄養士を輩出するための各種研修を行った。（別添一覧表）

医療・福祉・公衆衛生・勤労者支援・研究教育・学校健康教育・地域活動の 7 職域に共通した基礎知識に相当する研修を基幹研修として実施した。

基幹研修の生涯学習事業においては県全体で運営を行った。そのほか福岡支部、北九州支部、筑後支部、筑豊支部が中心となって新人研修、基幹研修事業の運営を行った。

拡充研修はその職域に特化した知識やスキルを習得するための研修事業であり各職域がそれぞれの職能に必要とする知識や技術を習得するための実務拡充研修として位置づけ、それぞれの職域を中心に研修事業の運営を行った。

これらの事業は、何れも県民の健康増進、疾病予防、疾病の重症化予防等の目的を達成するための手段と位置づけている。

今年度の主な事業は次の通りである。

（1）基幹研修事業

卒後教育の基幹研修は、すべての管理栄養士・栄養士を対象として実施し、専門職業人としての必要不可欠な基礎知識、最新情報さらに基礎知識の実務運用技術を身につけることを目的として実施した。

・生涯学習研修会

初任者から中堅者を対象に、最新の診療ガイドラインにそった食事療養、栄養管理の基礎を学ぶ下記の研修を実施した。

講義内容は「クリニカルサービスとフードサービスの両立」「情報交換会職域の現状と課題」「仕事を進めるコミュニケーション能力」「カーボカウントの実践～導入から応用まで～」「糖尿病における

『連携』のあるべき姿」「ライフスタイルに合わせた食生活改善術」「運動と健康」「認知症と生活習慣病～アルツハイマー病を予防するためにできること～」「食物アレルギー対策の最前線」「慢性腎臓病の予防と治療」「慢性閉塞性肺疾患（COPD）の予防と治療 呼吸器リハビリテーションガイドライン」

「女性ホルモンの変化と疾病・治療」「消化器癌術前・術後の病態と栄養管理」「メンタルヘルスとストレス管理 睡眠障害が生活習慣病に及ぼす影響」

「栄養指導のスキルアップを目指す糖尿病性腎症の診断と治療」「糖尿病性腎症の症例検討」

「インクレチンに作用する食事・食品の基礎研究による効果的な栄養指導」「緊急時における栄養管理」

「JDA-DATの取り組み」「病院非常食マニュアルの実際」「放射線（セシウム）の基礎知識 食品の安全性について」であった。

研修日時は7月22日、8月26日、9月23日、10月14日、11月18日、12月16日、1月20日の7回、20講義を実施し、延べ受講者は1494名であった。この研修会は県内の3地区（福岡、北九州、筑後）で開催した。

・支部研修会

受講の利便性を考慮し支部単位において実施した基幹研修は管理栄養士・栄養士の基本的知識やスキルを維持向上するため研修であり、県内の4地区（福岡、北九州、筑後、筑後）において実施した。講義内容は「肝臓疾患における栄養～栄養士が分かっておきたい栄養療法～」「肝がん予防のための糖尿病治療」「炎症性腸疾患の病態と治療」「炎症性腸疾患の食事療法」「正しく知ろう放射線の基礎知識－原発事故を踏まえて－」「ウイルス肝炎、最近の話題」「肝臓病の食事療法」「時間栄養学からこれからの栄養学を考える」「簡単おせち料理」「体の健康と乳酸菌」であった。

研修日時は12月23日、4月22日、12月9日、2月27日、12月8日、2月2日、2月16日、3月16日の8回、10講義であり、延べ受講者は360名であった。

・新人研修会

県内の新人（新たに資格を得たもの、または就業経験の短い者）を対象に講義やグループ討論などにより問題解決型研修会を、福岡・北九州・筑豊の3地区において開催した。

内容は「コミュニケーションとアサーション」「栄養士・管理栄養士としての私」「新たな食事形態（ゼリー食・ムース食）の取組みから見えた物」「眼科専門病院における糖尿病患者の実態と栄養指導の取組み」「当院における胃ろう増設の現状～事例を通して～」「監査指導の立場から」

「病院栄養士の仕事」「福祉施設栄養士の仕事」「改正・大量調理施設衛生管理マニュアルについて」であった。

研修日時は8月17日、8月24日、12月1日、3回実施し、延べ受講者は82名であった。

・管理栄養士国家試験対策講座

国家試験受験対策のための講座として計7回開催した。

研修日時は7月22日、8月26日、9月23日、10月28日、11月25日、12月16日、平成25年1月20日、受講者人数は27名であった。

（2）拡充研修事業（特定職域その他の研修事業）

医療・福祉・公衆衛生・勤労者支援・研究教育・学校健康教育・地域活動の7職種の業務特性に即した専門性の向上および各種課題に応じた研修会を開催した。

職域の特性や知識、技能のステップアップを目的として基礎知識の拡充研修として各職域を中心に運営を行った。

・医療事業部研修会

医療に関わる管理栄養士・栄養士や栄養・食事関連の医療従事者を対象として研修会を実施した。医療施設の機能分化に対応したそれぞれの施設機能に必要な栄養管理技術と栄養指導能力の開発に努めた。講義形式から受講者参加型の演習やグループワークを活用したコミュニケーション能力開発も期待できる内容とした。また、平成 24 年度は診療報酬改定年度であり、5 月 13 日には医療、福祉、公衆衛生事業部合同研修を開催した。

講義内容は「食物アレルギーの基礎と応用」「平成 24 年診療報酬改定の栄養・食事管理について」

「栄養管理に必要なバイタルサインの読み方」「病院栄養管理の基本と実際～赤本研修～」

「栄養指標からみる病態生化学と臨床検査値～たんぱく質の消化・吸収と代謝～」 「検査値から読み解く栄養状態の判断と病態生化学～症例を通して～」 「入院時食事療養および栄養管理関連診療報酬等留意点について」「食後高血糖と動脈硬化～動脈硬化ガイドライン 2012 改訂のポイント」

「褥瘡の栄養管理～急性期から在宅まで DESIGN を用いた創評価の実際とステージ別栄養療法～」

「栄養管理の流れおよび入院時食事療養費・診療報酬等について」「患者の栄養評価について～SGA を中心に～」 「高齢者の栄養管理～骨折・低栄養・過栄養～」 「入院時栄養評価および栄養管理計画書作成」「循環器疾患と栄養状態」 「診療科別症例（循環器）」であった。

5 月 13 日、7 月 7 日、11 月 1 日、平成 25 年 3 月 10 日の 4 日間 15 講座、延べ受講者 716 名であった。

・福祉事業部研修会

福祉施設に従事する管理栄養士・栄養士、福祉施設職員などを主たる対象として下記研修を 3 回行った。事例による演習や研修後の課題提出が初めての受講生も多く、スキルアップにつながっていくように演習型の研修を今後も取り入れていく必要があると思われた。

講義内容は「栄養マネジメントファーストステップ研修会」であった。

研修日時は 10 月 28 日、11 月 10 日、11 月 18 日であり延べ受講者 73 名であった。

・公衆衛生事業部研修会

県内の行政機関に勤務する管理栄養士・栄養士（行政栄養士）を主たる対象として下記内容似て実施した。内容充実しており講義 2 時間では時間不足であったと思われた。今後は十分な時間設定をする必要があると考えられた。研修内容は、個々のライフスタイルに応じた適格な栄養指導ができる能力・技術を身につけるための BDHQ のスキル習得を目的として実施した。

講義内容は「受診者にも実施者にも喜ばれる食事指導技術：BDHQ を例にして」であった。

研修日時は 10 月 20 日であり受講者は 30 名であった。

・勤労者支援事業部研修会

集団健康管理（防衛施設給食、矯正施設給食、産業給食、食品メーカーの研究・開発、食品企業の広報、スポーツ選手の栄養管理、外食産業でのメニュー開発等）を業務とする管理栄養士・栄養士を主たる対象として、健康な勤労者にたいする生活習慣病予防のための食育をテーマに掲げ、バランス良い食事メニューに興味を持たせることを実践目標とした、業務に生かせる調理技術習得目的で下記内容にて実施したが、研修会の日時の告知が遅く、また、日程が他の行事と重なっていたこともあり反省材料となった。講義内容は「有名料理店のメニューを習得」であった。

研修日時は12月2日であり受講者は6名であった。

・研究教育事業部研修会

研究教育事業部会は、県内の管理栄養士・栄養士の養成施設にて教育ならびに研究に関わっている教員、並びに公的機関や民間企業にて研究業務に従事されている研究者を中心に研修会を実施した。研修ないようである情報提供については、各養成施設である大学・短期大学・専門学校の学生教育につながる高度専門職業人教育の技法や、研究においては社会のニーズに対応したシーズとなりうるエビデンスに基づいた研究のあり方などの内容などの内容を取り上げている。講義内容は「食生活と腸内環境」「食育を実践するための視点」であった。研修日時は3月30日であり、受講者は85名であった。

・学校健康教育事業部研修会

主として栄養教諭・学校栄養職員として県内の学校・共同調理場に従事する管理栄養士・栄養士を対象に研修会を実施するもので、研修内容は、食を通して児童生徒の健康の保持増進に寄与するため、児童生徒を対象とした食育及び給食管理などに関する高度の専門的知識・技能を身につけさせる。

日本栄養士会主催のスキルアップ研修会が12月8日・9日にわたり本県を会場として開催されたため、それを平成24年度の研修事業に代え、本事業部の研修会は実施していない。なお、日栄主催研修会の参加者は約80名であった。

・地域活動事業部研修会

地域住民の身近な食の専門職として地域に根ざした活動を行う管理栄養士・栄養士（地域活動栄養士）を主たる対象として下記研修を福岡、北九州、筑後、筑豊の各地区で開催した。様々な角度から知識・技術を習得する事を目的とし、主に調理実習において、伝統料理の研究、献立の創作等、食文化の発展的承継に資する研修会を実施した。どれも業務活用・実践できる内容のものであったが、今後は更に幅広い対象者に対応できる研修会計画が必要と思われる。

研修内容は「食べることの支援」「体の健康と乳酸菌」「地元で採れる果物や野菜を使つての軽食」「日常薬膳 / 体質と食材の相性」「幼児食どれだけ食べればよいでしょう」「塩麴を使った調理実習」「お正月料理を研究・伝承しよう!」であった。

研修日時は4月14日・7月9日・8月25日・9月8日・11月30日・12月2日、延べ受講者は184名であった。

(3) 研修に付随する事業

・研修会案内事業（広報部）

当会が企画する研修会情報を「研修会案内」として奇数月に発行し、会員及び県民の研修機会の拡大を図る事を目的とした。

1. (奇数月・年6回)の発行及び会員への送付を行った。
2. 研修会案内とともに送付する「栄養ふくおか」では、誌面のリニューアルを行い、栄養に関するトピックス、県内に勤務する管理栄養士・栄養士の紹介などを掲載した。
3. 県民向け広報活動の拡充整備のため、配布場所について検討した。
4. 封かん・発送に関する業務について業務委託を行い、業務効率の向上及びコスト削減を行う。

・病院等栄養管理の基本と実際（赤本編集委員会）

平成24年診療報酬改定に伴い改訂版（第14版一部改訂）の編集・作成を行った。

3. 健全な食生活のための県民の自律の支援（県民支援部）

本事業は、生涯を通じた食育や健康づくり、生活習慣病予防等を目的に地域に密着して実施するもので、講演会、食生活診断、栄養指導、調理実習、展示等を通して、正しい知識の普及と実践への支援を進める目的で事業を行った。

また、疾病の重症化予防や寝たきり予防、高齢者の低栄養等を改善する介護予防事業及び食事療養を必要とする傷病者への栄養食事指導を行うことによりQOLの向上を高める等、食と栄養の指導や支援を通して県民の公衆衛生の向上に寄与することを目的として事業を行った。

平成24年度の事業は以下の通りである。

(1). 栄養ケア・ステーション事業

栄養ケア・ステーションは、市町村や医療機関（診療所）、社会福祉施設等から栄養に関する業務について協力する事業であり、地域住民の健康維持・増進及び疾病予防・治療に寄与することを目的とするもので、24年度の主な実施内容は、以下の通りである。

- ① 高齢者食生活改善事業（北九州市）
- ② 訪問型介護予防事業（北九州市）
- ③ 食生活改善推進事業（志免町）
- ④ 栄養士会クッキングセミナー
- ⑤ 講師派遣 など

(2). イベントにおける栄養相談事業

県民が多く集まる機会（イベント）において栄養相談・食事指導を行い、県民の食の自律を図るものであり対象は県民一般である。

・健康21世紀福岡県大会

県民の自主的健康づくりを支援・健康寿命の延伸を目ざし、福岡県と県内の健康づくり関係団体が連携して開催した。（福津市で11月25日実施）

・地域健康フェア

市町村・医師会・薬剤師会・自治会・地域諸団体と連携のもと、食育推進や生活習慣病の予防・治療について地域住民の意識向上を目指して、実施した。（9地区）

・市民糖尿病教室

糖尿病及び合併症予防に関する正しい知識の普及を図ることにより、QOLの高い暮らしの実現を目指して毎年、糖尿病週間に医師会、栄養士会、薬剤師会、糖尿病療養指導士会等との協働のもと、福岡、北九州、筑後の3地区で開催した。

・歯の健康教室

口腔の健康づくりに関する正しい知識の普及、歯科疾患を予防する適切な習慣の定着を目的として6地域で開催した。

(3). 市民公開講座（セミナー）

県民の健全な食生活を自立的に営む力を育むために、栄養の専門職である管理栄養士・栄養士が知識や知恵、実用技術の普及を行う事業である。

・食育推進実践セミナー

食育の推進をテーマに、アクロス福岡において、年に12回（毎月第2火曜日）講演を行い、広く県民に対し、食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及を行なった。

・健康セミナー

本会および看護協会、放射線技師会、臨床検査技師会で構成された福岡県医療団体協議会が公開講座を行う。医療に携わる専門家が、県民と一緒に健康増進、疾病の重症化予防をより深く考える機会とするもので、24年度のテーマは「がんの集学的治療とチーム医療」2月16日に

開催され、参加者は142人であった。

また、県民の健康保持増進疾病を予防を図り、公衆衛生の向上に寄与することを目的とした福岡県医師会主催の「県民健康づくりセミナー」に参画して、6月12日に「生活習慣病を予防する食事のポイント」というテーマでセミナーを開催した。参加者 54名

(4)．栄養情報コミュニケーション事業 (広報部)

・ホームページ事業

食育や健康づくりなど、県民を対象とした地域イベントや講演会案内を実施した。

また、会員向けスタッフ募集では、地域における栄養ケア活動への積極的な参加を呼び掛けを行った。

活動内容として

1. 定期更新を基本にし、随時更新(奇数月 年6回)
2. 平成25年1月号より「栄養ふくおか-Web版-」の掲載開始
3. 新たな情報コンテンツを加えた、ホームページリニューアル案の検討
4. 当会ホームページ上での「研修会申込みシステム」の検討
5. 福岡県栄養士会の閲覧数は、前年より8%増大

前年 15,332件(42.0件/日) → 今年 16,557件(45.4件/日)

・広報に関する会議

福岡県栄養士会事業計画における広報に関する事業を計画的に実施し、適切に運用するため、広報部に、栄養ふくおか委員会、ホームページ委員会をおき、担当する事業の運営にあたっている。

広報部会議：平成24年度 4回実施

4. 県民の健康を育む食環境の整備

県民の健全な食生活の形成に寄与しうる地域社会の諸資源(人と物と仕組み)を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。この事業は、①栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉及び教育等の分野の各職種や有識者、自治体等の連携・協働関係の構築、②適正な食生活を応援する公共又は民間の諸制度の推進・運用改善の取り組みなどの柱からなる。これは県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

(1) 連携・協働関係の構築事業

地域住民の健全な食生活を支える食環境を整備するため、これに資する地域基盤の各種委員会や協議会に参画し、その連携と活動の強化により公衆衛生の向上に寄与しようとするものである。

平成24年度の主な委員会活動・会議参画は以下のとおりである。

生活習慣病対策検討委員会、いきいき福岡健康づくり、福岡県介護予防市町村支援委員会および専門部会、福岡県医療審議会、ふくおかの食と農推進会議、福岡県学校給食審議会、福岡市食育推進会議、福岡県医療団体協議会、福岡県歯科保健医療推進協議会、全国高等学校総合体育大会福岡県実行委員会、福岡市学校給食運営委員会、福岡市第2給食センター整備検討委員会、福岡市保健福祉審議会、北九州市保健所運営協議会、北九州市健康づくり懇話会、北九州市食育推進懇話会、北九州市高齢者介護の質の向上委員会など

平成24年度 収支報告書(正味財産増減計算ベース)

平成24年4月1日から平成25年3月31日

(共通費配賦前)

科 目	予算額	実績額	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費等				
・入会金	600,000	513,000	87,000	・入会247名、転入19名
・正会員会費	18,550,000	17,913,000	637,000	・2,559名、7,000円/人
・賛助会員会費	2,100,000	1,950,000	150,000	・65社、30,000円/社
事業収入				
・栄養改善学会参加費	360,000	352,000	8,000	・176名、2000円
・栄養改善学会・研修会等参加費				
生涯学習研修会	2,620,000	2,418,800	201,200	・310名、2390単位(1,000円/単位)。振替認定144単位(200円/単位)
管理栄養士国家試験準備講習会	700,000	545,700	154,300	・会員12名/17,000円、会員外13名/23,000円(うち途中受講1名)
その他研修会	990,000	1,371,300	▲381,300	・医療781千円、福祉451千円、その他139千円
・教材等出版物	2,340,000	2,389,920	▲49,920	・病院等栄養管理の基本と実際 1324冊、研修資料8,520円
・栄養ケア・ステーション	5,111,800	3,190,710	1,921,090	・北九州食生活改善 2,007,120円、北九州介護予防 121,800円 西部ガス料理教室226,800円、志免町食生活改善 340,000円 講師派遣306,000円、その他188,990円
事業協賛金(賛助会員)	700,000	814,900	▲114,900	・総会・栄養改善学会賛助金(展示) 275,000円 拡充研修会 539,900円
受取補助金等				
・栄養改善学会補助金	270,000	270,000	0	・福岡県
・地方公共団体等補助金(事業共催)				
福岡県事業	200,000	73,483	126,517	・健康21世紀福岡県大会
市町村・医療団体事業	464,000	378,156	85,844	・地区食育イベント出展等への補助金
・日栄共同研修会助成金	1,100,000	1,250,000	▲150,000	・指導者のための健康栄養セミナーなど3研修会
雑収入				
・日栄会費徴収手数料収入	132,500	123,550	8,950	・2,471名(50円/人)
・受取利息	16,000	10,597	5,403	
・その他	0	10,130	▲10,130	・栄養改善学会お祝い受取など
経常収益計	36,254,300	33,575,246	2,679,054	

平成24年度 収支報告書(正味財産増減計算ベース)

平成24年4月1日から平成25年3月31日

(共通費配賦前)

科目	予算額	実績額	増減	備考
(2)経常費用				
事業費				
役員報酬	0	0	0	<事業別内訳>
給与手当	0	0	0	・栄養改善学会 1,161,294円
臨時雇賃金	5,243,900	4,494,322	749,578	・生涯学習研修会 1,802,211円
福利厚生費	0	0	0	・管栄国家試験準備講習会 1,080,084円
退職給与引当金繰入額	0	0	0	・支部研修会(新人研修含む) 1,204,813円
諸謝金	3,660,700	2,992,213	668,487	・職域事業研修会 3,590,546円
旅費交通費	4,106,380	3,885,207	221,173	・日栄委託研修会 1,414,669円
通信運搬費	1,439,530	1,651,905	▲212,375	・病院等栄養管理の基本と実際 938,255円
消耗品費	1,746,120	1,494,346	251,774	・栄養ケアステーション 2,847,427円
書籍仕入費	910,000	875,700	34,300	・食育実践セミナー 239,485円
印刷製本費	338,500	1,231,862	▲893,362	・健康21世紀福岡県大会 273,483円
賃借料	3,022,740	2,817,222	205,518	・地域イベント栄養相談など 1,234,134円
負担金	330,000	300,000	30,000	・栄養ふくおか 1,268,363円
委託費	0	0	0	・支部・事業部会 運営 1,523,100円
雑費	95,600	155,924	▲60,324	・その他 1,320,837円
租税公課	0	0	0	
・事業費計	20,893,470	19,898,701	994,769	
法人費				
役員報酬			0	
給与手当			0	
臨時雇賃金	263,200	362,500	▲99,300	総会・理事会・三役会・選考委員会など
福利厚生費			0	
退職給与引当金繰入額			0	
諸謝金			0	
旅費交通費	1,619,120	1,448,710	170,410	理事会・三役会403千円、日栄総会代議員478千円など
通信運搬費	441,760	550,741	▲108,981	総会案内状メール代、会員領収書送付など
消耗品費	262,100	205,070	57,030	
書籍購入支出			0	
印刷製本費	400,000	689,232	▲289,232	総会資料378千円、新入会案内151千円、公益法人挨拶状など
賃借料	402,400	489,789	▲87,389	総会・理事会・三役会・事業策定委員会・選考委員会など
負担金			0	
委託費			0	
雑費	340,000	425,090	▲85,090	医団協懇親会、緒方先生お別れ会、会員香典など
租税公課				
・法人費計	3,728,580	4,171,132	▲442,552	

平成24年度 収支報告書(正味財産増減計算ベース)

平成24年4月1日から平成25年3月31日

(共通費配賦前)

科 目	予算額	実績額	増減	備 考
共通費				
役員報酬	720,000	684,000	36,000	月額報酬 会長12,000円、副会長・常任理事 各6,000円
給与手当	5,990,000	5,741,500	248,500	事務局長2,410,000円、事務職・パート職員3,331,500円
臨時雇賃金		249,600	▲249,600	事務局アルバイト
福利厚生費	850,000	696,841	153,159	事務職員社会保険料
退職給与引当金繰入額	96,000	96,000	0	事務職員退職給付引当
諸謝金				
旅費交通費	636,000	669,740	▲33,740	事務職員 通勤手当
通信運搬費	450,000	612,316	▲162,316	事務所電話/FAX/インターネット代など
消耗品費	700,000	618,488	81,512	コピー用紙、文房具、会議用ペットボトルなど
書籍仕入費			0	
印刷製本費	650,000	461,819	188,181	看護協会印刷機使用料、事務所コピー機使用料など
賃借料	950,000	912,722	37,278	事務所賃貸料
負担金			0	
委託費	464,400	525,360	▲60,960	税理士顧問料、会計システム使用料
雑費	30,000	45,383	▲15,383	
租税公課	71,000	186,400	▲115,400	消費税、法人県民税・市民税
・共通費計	11,607,400	11,500,169	107,231	
経常費用計	36,229,450	35,570,002	659,448	
当期経常増減額	24,850	▲1,994,756	2,019,606	
当期正味財産増減額	24,850	▲1,994,756	2,019,606	
正味財産期首残高	35,091,536	35,091,536	0	
正味財産期末残高	35,116,386	33,096,780	2,019,606	